

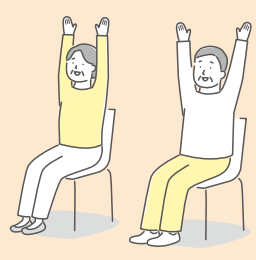
シルバーリハビリ体操指導士が 県知事賞を受賞

7月7日、真壁福祉センターで伝達式が行われ、桜川市シルバーリハビリ体操指導士会の体操指導士2名に県知事賞が贈られました。

今回の表彰では、永年にならぬ地域住民の健康づくりや介護予防の普及活動に貢献したことが評価されての受賞となりました。

シルバーリハビリ体操は、高齢者が尊厳をもって生きいきと暮らしていけるよう考案され、高齢者の日常生活に必要な身体機能の保持や閉じこもり防止を目的に行っています。

同会ではこれまでに、介護予防教室や生きいきサロンなど、ボランティアとして地域に密着した活動を行っているっており、市内の高齢者への介護予防に大いに貢献されています。



伝達式に出席した桜川市シルバーリハビリ体操指導士会の皆さん

■問合先／高齢福祉課（☎0296-73-4511直通）

筑波山地域ジオパークNEWS

■問合先／商工観光課（☎0296-55-1159直通）

生きていく大地の動きを実感 筑波・鶏足山塊ゾーン

日本ジオパークの1つとして認定されている筑波山地域ジオパークは、つくば市・石岡市・笠間市・桜川市・土浦市・かすみがうら市の6市のエリアから構成され、山・湖・平野の3つのゾーンに分けられています。

今回は、桜川市が含まれる筑波・鶏足山塊ゾーンをご紹介します。

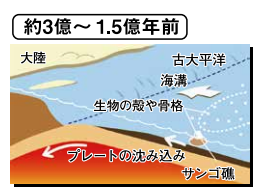
筑波山地域の山々は、筑波・鶏足山塊と呼ばれ、約3億〜1億5千万年前に大陸から遠く離れた海洋底や海山の上でできたチャート（堆積岩）や石灰岩、大陸近くの海溝付近でできた砂岩や泥岩の互層などが見られます。

このような岩石の集まりは「付加体」とよばれ、海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込む際、海洋プレートの上の岩石が海溝付近で次々と大陸側へ押し付けられ、はり付

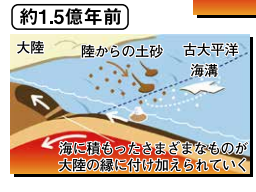
いていくことでできました。

また、筑波山塊の南東部や鶏足山塊の南端では、花こう岩や斑れい岩をつくった大量のマグマの高熱で性質が変化した岩石が含まれています。

長い年月をかけた海洋プレートの移動と沈み込み、それに伴う地下深部での大量のマグマの形成という、地球の歴史と生きた大地の動きを感じられることが、筑波・鶏足山塊を作る岩石の魅力です。

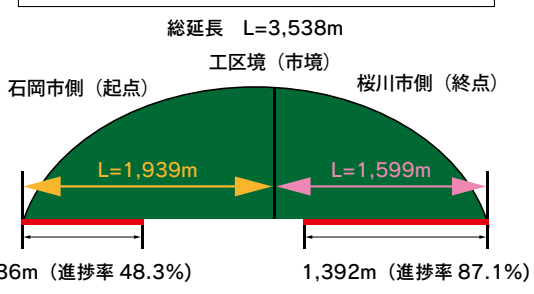


●筑波・鶏足山塊の成り立ち



■問合先／建設課（☎58-5111代表）

上曽トンネル掘削進捗状況（8月10日現在）



（仮称）上曽トンネル
本体工事進捗状況 vol.7
（仮称）上曽トンネルの本体工事進捗状況をお伝えします。
▼漏水を防ぐビニール製シート
の作業状況（桜川工区）